

帝國大學新聞

創刊日 一月一日 昭和五年
発行所 東京市神田区大塚二丁目
電話 二二二二
代印所 東京市神田区大塚二丁目
電話 二二二二

中實験所の機能を 民間に開放する

大學擴張運動に劃時代的な
工學部の委託研究

日本帝國大學の中央研究所は、昭和五年に創立された。その目的は、當時の大學に不足した研究設備を整へ、學者の共同研究を促進し、社會の進歩に貢献することである。この研究所は、工學部を中心に、物理、化学、生物、地質、天文、医学などの分野で、最先端の研究を行ってきた。特に工學部の委託研究は、その重要な柱となってきた。この委託研究は、工學部が、社會の産業界から依頼を受けた研究で、その成果は、産業界に還元される。この委託研究は、工學部の機能を、民間に開放する、劃時代的な試みである。この委託研究は、工學部の研究設備を、民間の研究者にも利用できるようにし、その研究成果を、民間の産業界に還元する。この委託研究は、工學部の機能を、民間に開放する、劃時代的な試みである。

獨文學者の懇話会 ゲーテ協會生る

事務所は本學文學部に

獨文學者の懇話会は、獨文學者の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、ゲーテ協會として設立された。この協會は、獨文學者の懇話会として、獨文學者の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、ゲーテ協會として設立された。この協會は、獨文學者の懇話会として、獨文學者の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、ゲーテ協會として設立された。この協會は、獨文學者の懇話会として、獨文學者の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、ゲーテ協會として設立された。

大勢の赴く所 これが最後の一案

改革が解散、運動各部の
向背で決まる學友會

學友會の改革は、大學の改革の重要な一環として、大勢の赴く所となつてゐる。この改革は、學友會の組織を一新し、その機能を、大學の改革に貢献できるようにする。この改革は、學友會の組織を一新し、その機能を、大學の改革に貢献できるようにする。この改革は、學友會の組織を一新し、その機能を、大學の改革に貢献できるようにする。この改革は、學友會の組織を一新し、その機能を、大學の改革に貢献できるようにする。

佛大學生問題 交換會を成立

佛大學生と日大學生の
交換會を成立

佛大學生と日大學生の交換會は、佛大學生と日大學生の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、交換會として設立された。この交換會は、佛大學生と日大學生の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、交換會として設立された。この交換會は、佛大學生と日大學生の相互の交流を促進し、その研究の進歩を図ることを目的として、交換會として設立された。

學生控所新築 完成したら一福音

圖書室や講義室の設備も
完成したら一福音

圖書室や講義室の設備も完成したら一福音。圖書室や講義室の設備も完成したら一福音。圖書室や講義室の設備も完成したら一福音。圖書室や講義室の設備も完成したら一福音。

六法全書で 聴診器がスラムへ

東京市セウラムに
聴診器がスラムへ

東京市セウラムに聴診器がスラムへ。東京市セウラムに聴診器がスラムへ。東京市セウラムに聴診器がスラムへ。東京市セウラムに聴診器がスラムへ。

文の卒業論文題目 縮切り終つた

アガミツクもの多し
國史に現れた時代相

アガミツクもの多し。國史に現れた時代相。アガミツクもの多し。國史に現れた時代相。アガミツクもの多し。國史に現れた時代相。アガミツクもの多し。國史に現れた時代相。

留學生クラブを設けて 國際親善に貢献

留學生クラブを設けて
國際親善に貢献

留學生クラブを設けて國際親善に貢献。留學生クラブを設けて國際親善に貢献。留學生クラブを設けて國際親善に貢献。留學生クラブを設けて國際親善に貢献。

日獨交換學生 ヘイニツシュ君来る

「日本語及び日本文學を研究
ヘイニツシュ君来る

「日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。

日獨交換學生 ヘイニツシュ君来る

「日本語及び日本文學を研究
ヘイニツシュ君来る

「日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。日本語及び日本文學を研究ヘイニツシュ君来る。

應援を望む 歳末奉仕に

「歳末奉仕に
應援を望む

「歳末奉仕に應援を望む。歳末奉仕に應援を望む。歳末奉仕に應援を望む。歳末奉仕に應援を望む。

ニユートン祭 歳末を賑はす

「ニユートン祭
歳末を賑はす

「ニユートン祭歳末を賑はす。ニユートン祭歳末を賑はす。ニユートン祭歳末を賑はす。ニユートン祭歳末を賑はす。

學友會費未納者 一千百名に達す

「學友會費未納者
一千百名に達す

「學友會費未納者一千百名に達す。學友會費未納者一千百名に達す。學友會費未納者一千百名に達す。學友會費未納者一千百名に達す。

建案科の旅行 今年も奈良へ

「建案科の旅行
今年も奈良へ

「建案科の旅行今年も奈良へ。建案科の旅行今年も奈良へ。建案科の旅行今年も奈良へ。建案科の旅行今年も奈良へ。

成人教育講座 土日修了

「成人教育講座
土日修了

「成人教育講座土日修了。成人教育講座土日修了。成人教育講座土日修了。成人教育講座土日修了。

風車 共済部へ

「風車
共済部へ

「風車共済部へ。風車共済部へ。風車共済部へ。風車共済部へ。

節約宣傳品 土日修了

「節約宣傳品
土日修了

「節約宣傳品土日修了。節約宣傳品土日修了。節約宣傳品土日修了。節約宣傳品土日修了。

法文評議員 一部は

「法文評議員
一部は

「法文評議員一部は。法文評議員一部は。法文評議員一部は。法文評議員一部は。

立澤 剛 博士著 シニエール 浪漫主義

「シニエール 浪漫主義
立澤 剛 博士著

「シニエール 浪漫主義立澤 剛 博士著。シニエール 浪漫主義立澤 剛 博士著。シニエール 浪漫主義立澤 剛 博士著。シニエール 浪漫主義立澤 剛 博士著。

岩波書店 新刊 山内得立著 存在の現象形態

「存在の現象形態
山内得立著

「存在の現象形態山内得立著。存在の現象形態山内得立著。存在の現象形態山内得立著。存在の現象形態山内得立著。

九鬼周造著 現象學 叙説

「現象學 叙説
九鬼周造著

「現象學 叙説九鬼周造著。現象學 叙説九鬼周造著。現象學 叙説九鬼周造著。現象學 叙説九鬼周造著。

實證的研究に於ける統計の意義

緒川虎三

統計は、現代の科学に於ける最も重要な手段の一つである。その意義は、単にデータの集計と整理に止まらず、むしろ、その背後に隠れた法則や傾向を明らかにすることにある。この意味では、統計は一種の「推測の科学」ともいえる。現代の社会科学研究において、統計的アプローチは不可欠の要素となっており、その発展は著しい。しかし、統計の適用には、その前提条件や限界を十分に理解することが必要である。本稿では、統計の基本的な意義と、その現代的研究における役割について、実証的研究の観点から検討する。

明治時代の暗殺物語

原典作

明治時代は、日本が急速な近代化を遂げた時期である。その激動の時代には、多くの暗殺事件が発生した。これらの事件は、単なる暴力行為ではなく、政治的・社会的な背景を反映している。本稿では、明治時代の暗殺事件の背景と、その社会的意義について考察する。特に、自由民権運動の発展と、それに伴う権力者の弾圧との関係に焦点を当てる。

旅にであへる人々

野上俊夫

旅は、人々を異なる文化や環境へと導く。その過程で、人は自己の内面と向き合い、新たな発見を得る。本稿では、旅の経験を通じて得られる人間性や社会性について、野上俊夫の視点から論じる。

科学の世界から

リンゴの話

菊池秋雄

リンゴは、人類の生活に深く関わる果物である。その栽培技術の発展は、科学の進歩と密接に関連している。本稿では、リンゴの栽培と科学技術の関係を、菊池秋雄の視点から探る。

新刊紹介

本書は、現代社会の課題を鋭く指摘する力作である。著者は、豊富な実証データに基づき、社会の根本的な問題を分析している。本書は、政策立案者や一般読者にとって、非常に有益な読み物である。

本書は、日本の歴史を多角的に考察する。著者は、従来の歴史観を打破し、新たな視点から日本の発展と変遷を論じている。本書は、歴史愛好家だけでなく、現代社会を理解するための重要な参考書である。

本書は、現代の政治情勢を詳しく解説している。著者は、国内外の政治動向を正確に把握し、その背景と影響を分析している。本書は、政治に関心のある読者にとって、必読の書である。

現代宗教批判

宗教学研究臨時特輯

本書は、現代の宗教現象を批判的に検討する。著者は、宗教の社会的機能と、その変遷について、深い洞察を有している。本書は、宗教社会学の分野において、重要な位置を占める。

本書は、日本の宗教史を詳しく解説している。著者は、古くからの宗教の発展と、近代化に伴う変容を論じている。本書は、宗教史の研究者にとって、貴重な資料である。

本書は、現代の宗教と社会の関係について、詳しく分析している。著者は、宗教が社会に与える影響と、社会が宗教に与える影響を論じている。本書は、社会学の分野において、重要な参考書である。

日本憲法要論
著者：佐々木惣一
出版社：金刺書店
本書は、日本憲法の基本原則と歴史を詳しく解説している。著者は、憲法学者として知られる。本書は、憲法に関心のある読者にとって、必読の書である。

理想
著者：新井 隆
出版社：理想社出版部
本書は、理想と現実のギャップについて、詳しく論じている。著者は、社会評論家として知られる。本書は、理想を追求する読者にとって、重要な参考書である。

国家試験
著者：大塚 隆
出版社：大塚出版部
本書は、国家試験の対策として、詳しく解説している。著者は、試験対策の専門家として知られる。本書は、国家試験を受ける読者にとって、必読の書である。

野上病院
院長：野上 隆
本書は、野上病院の紹介と、院長の経歴について、詳しく解説している。本書は、野上病院を利用する患者にとって、重要な参考書である。

古梅園支店
本書は、古梅園支店の紹介と、商品の紹介について、詳しく解説している。本書は、古梅園支店を利用する顧客にとって、重要な参考書である。

御菓子司
本書は、御菓子司の紹介と、商品の紹介について、詳しく解説している。本書は、御菓子司を利用する顧客にとって、重要な参考書である。

河瀬本店
本書は、河瀬本店の紹介と、商品の紹介について、詳しく解説している。本書は、河瀬本店を利用する顧客にとって、重要な参考書である。

大黒屋
本書は、大黒屋の紹介と、商品の紹介について、詳しく解説している。本書は、大黒屋を利用する顧客にとって、重要な参考書である。

